



ネギ編

病害虫注意報 2025年2月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

育苗期～定植前おすすめ防除

黒腐菌核病対策に

バスアミド® 微粒剤

- 対象病害虫等：黒腐菌核病、白絹病、
ネギセンチュウ、ネギハダカ、一年生雑草 等
- 使用量：20～60kg/10a
- 使用時期：は種又は定植14日前まで

使用量は対象病害虫によって異なります。
ラベルを確認の上ご使用してください。



土壌消毒のポイント

- ① 砕土を丁寧に行う
…固まっている土の内部は
消毒されません！
- ② 被覆を必ず行う
…被覆を行わないと薬剤が
抜けやすくなり、
表層しか消毒できません！

おすすめ定植前～定植当日処理剤

ベストガード粒剤

- ネギアザミマ
- 50g/㎡成型育苗トレイ1箱
またはペーパーポット1冊
- 育苗期後半～定植当日/1回



兼商ヨーバルフロアブル

- アザミマ類、ハダカ類
- 200倍 灌注処理
- 育苗期後半～定植当日/1回



ミネクトデュオ粒剤

- アザミマ類、ハダカ類
シロイロ等
- 40g/㎡型育苗トレイ1箱
またはペーパーポット1冊
- 育苗期後半/1回



注意



ミネクトデュオ粒剤を使用した場合、
下記の薬剤は苗場での使用ができません!!

- ベリマークSC
- ベネビアOD
- アクタラ粒剤5
- ジュリボフロアブル
- プリロッソ粒剤オメガ
- アベイル粒剤
- アクタラ顆粒水溶剤

軟腐病

病原菌：Pectobacterium carotovorum
(細菌)

- 収穫期に近づいた成株に発生が多い。
- 葉身の展開部に水浸状の病斑を生じ、
茎盤基部が褐変し、地上部は生育不良になる。
- 腐敗部はいずれも特有の腐敗臭を発する。
- 土壌伝染性で、土寄せ・強風などによる葉擦れに
よって出来た傷から病原菌が侵入する。



参考画像：
玉ねぎ軟腐病

軟腐病対策に！

オリゼメート粒剤

- 植物の病害抵抗性を誘導
- 持続性に優れた効果

6kg/10a
土寄せ時
(但し、収穫30日前まで)
2回/株元散布

